

雪景色の財田を満喫 歩くスキー・スノーシュー体験会

歩くスキー・スノーシュー冬の体験会（教育委員会社会教育課主催）が1月28日、財田地区で行われ、町民や小学生ら20人が参加しました。

冬のスポーツを楽しんでもらおうと、昨年まで文化財防火デーの中で行っていたものを今年初めて単独で開催。

参加者は、洞爺財田自然体験ハウスから財田親水公園までの往復約5^{キロ}のコースを散策し、雪景色を楽しみながら心地良い汗を流しました。

参加した小学生は「歩くスキーは初めてだったけど楽しかった」と笑顔を見せました。



歩くスキーを楽しむ子どもたち

1月29日、とうや小学校と洞爺中学校の給食に洞爺産のじゃがいもを使用した揚げいもが登場し、児童、生徒たちを喜ばせました。



揚げいもを頬張るとうや小の児童たち

この揚げいもは、道の駅あぶたが地場産のじゃがいものおいしさを知ってほしいと、660個寄贈したものです。当日は、揚げいもとともにいぶり噴火湾漁協から提供されたホタテを使用した甘辛煮も並び、地域色溢れる給食となりました。

虻田小、中学校と洞爺湖温泉小学校では、翌日の30日に揚げいもが振る舞われ、おいしく平らげました。

揚げいもが給食に登場 郷土の味を堪能

旧正月を迎えて増加する中国人観光客をおもてなしの心で歓迎し



中国語の発音を説明する孔さん

ようと「おもてなし中国語講座」（洞爺湖日本中国友好協会主催）が、1月29日、観光情報センター町民ホールで開催されました。友好協会会員や観光関係者など8人が参加し、簡単な中国語や中国文化について学びました。

講師は、中国広東省出身で登別市職員の孔佩群（コウハイゲン）さん。孔さんは、中国語の発音には、四つのパターンがあることなど中国語の特徴を最初に説明。中国人気質に触れながら、「歓迎光臨（ファンイン グゥァンリン／いらっしゃいませの意）」などの基本的接客用語の発音を指導しました。

旧正月増える中国人観光客に対応 おもてなし中国語講座

おむすび型のボールで熱い戦い 町民ふらばーるバレーボール大会

町民の親睦を図ることを目的に第2回町民ふらばーるバレーボール大会（洞爺湖町体育振興連絡会主催）が2月19日、あぶた体育館で行われ、6チームが参加しました。

ふらばーるバレーボールは、おむすび型の空気ボールを使い、ワンバウンドで返球する新しいスポーツの1つ。試合は1チーム5人構成で、総当たり戦を行いました。

参加者は、変わった形でどこに飛んでいくかわからないボールに苦戦しながらも熱い戦いを繰り広げました。



熱戦を繰り広げた町民ふらばーるバレーボール大会

まちのわだい

